

ひだご坊真宗教化センターだより 2021年10月号

発行日:2021(令和3)年9月28日 第15号 発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番 三島多聞
〒506-0857 高山市鉄砲町6 ☎ 0577-32-0776 web http://hidagobo.jp ✉ takayama@higashihonganji.or.jp

特別展「聖徳太子1400年記念—和国の教主聖徳皇・親鸞聖人と聖徳太子」を開催

日時:11月1日～3日 午前9時～午後3時 会場:寺宝館(庫裡2階) [真宗公開講座] 11月2日午後7時「飛騨の聖徳太子信仰」講師/竹田雅文氏

■親鸞聖人と聖徳太子—多数の太子和讃を作成

2021年は、聖徳太子歿後1400年記念として、3月、奈良・法隆寺で1400回忌法要が勤まり、4月から5月には聖徳太子の御廟所・大阪府河内郡太子町の磯長・叡福寺で聖徳太子1400年御遠忌大法会が厳修されました。叡福寺では50年忌毎に仏教各派を招待し参勤を願い、4月17日には真宗大谷派からも参務・式務員を中心に出席参勤されています。また、4月から奈良国立博物館、7月に東京、9月には大阪で聖徳太子の特別展が開かれています。

当高山別院照蓮寺でも報恩講に併せて、特別展「聖徳太子1400年記念—和国の教主聖徳皇・親鸞聖人と聖徳太子」の開催が予定されています。

親鸞聖人のご生涯の節目には、夢告として聖徳太子が登場します。19歳で磯長・叡福寺の太子廟に参詣・夢告を受ける。28歳で比叡・大乘院での夢告。29歳で六角堂百ヶ日の参籠と夢告。この夢告にみちびかれ法然上人と出会い、「雑行を棄てて本願に帰す」と後年記述された親鸞聖人がいます。そして83歳で『皇太子聖徳奉讃』75首を作成され、85歳で『大日本国粟散王聖徳太子奉讃』114首、同年『正像末和讃』には、康元2年(1257)2月9日の夢告讃として「弥陀の本願信ずべし 本願信ずるひとはみな 撰取不捨の利益にて 無上覚をばさるとなり」と讃嘆されています。同年5月には『上宮太子御忌』を書写され、そして86歳から88歳には『皇太子聖徳奉讃』11首を作成されます。これら太子和

讃の作成は、『聖徳太子伝暦』(延喜17年(917)成立)などの事蹟に沿って著述されています。『聖徳太子伝暦』は、聖徳太子が49歳で亡くなった以後、太子を偲び太子のご生涯をたどる伝記が多く作成されていくなかで、最も太子の足跡に則した伝承を取りあげています。

■【片岡山の飢人】—善悪浄穢もなかりけり

太子歿後、聖徳太子信仰の中心となるのは『聖徳太子絵伝』です。この『太子絵伝』は、太子の誕生から死去と葬送以後の伝承を絵と詞書でまとめたもので、1歳から49歳の年齢別にその事蹟が記述されています。

『聖徳太子絵伝』の中で注目されるものに【片岡山の飢人】の一段があります。(以下要旨)

推古20年12月、太子42歳、磯長の御廟所の帰り、片岡山のほとりで太子を乗せた馬が止まり動こうとしなかった。その先には、一人の飢人が臥していた。太子は食べ物を与え、紫の衣を着せてやるなど大事にしたところ、人々はいぶかしげた。飢人の死を知ると、柩に入れ手厚く葬り、与えた紫の衣を取り寄せたところ、人々はまたいぶかしげに太子を怪しんだという。しかし太子はその紫の衣を、何のためらいもなく、もとのままに着服し、飢人を哀れ悲しんだと伝えている。

ここに身分や差別を越え「善悪浄穢もなかりけり」(『皇太子聖徳奉讃』11首)と、仏教を生きる太子がいます。親鸞聖人は太子の事蹟に沿いながら、本願念仏の教えとして和讃されています。



『聖徳太子絵伝』第四幅目「片岡山の飢人」の段 [東等寺冬任文庫]

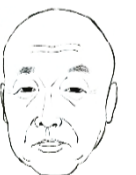
うゑ人しにてそののちに
むらさきの御衣をとりよせて
もとのごとくに皇太子
着服してぞおはします 『大日本国粟散王聖徳太子奉讃』

【片岡山の飢人】の一段を、『大日本国粟散王聖徳太子奉讃』の中では8首の和讃にされています。『聖徳太子伝暦』には【片岡山の飢人】について次の3点の出典史料があります。『日本書紀』「皇太子遊行於片岡時飢者臥道垂仍問姓名(略)」、『万葉集』「上宮聖徳太子出遊竹原井之時見龍田山(略)」(龍田山と片岡山は隣接して見る方角で記述が異なる)、『日本霊異記』(聖徳太子示表縁第四)「太子譽より降り(略)」などがあり、【片岡山の飢人】は早い段階で『上宮聖徳太子伝補闕記』(建暦13年(794)以後成立)に集約されて、その後『聖徳太子伝暦』として成立に至っています。

このたびの特別展を通して、親鸞聖人が出遇われた聖徳太子に私たちが出遇う展観が願われています。

高山二組 東等寺住職 竹田雅文

※11-12月号の裏面で連載します。



★センター・別院からのお知らせ★

※各行事は、コロナ感染の状況により中止や変更になる場合があります。

ご坊教化センター・高山別院 各組巡回を実施

- ◆ 2020～2022 年度を「第一期御坊センター体制」として取り組む
- ◆ 御坊センターと各組教化委員会の連動強化へのご理解を

新年度を迎え、教務所長巡回にあわせてご坊センター・高山別院の各組巡回が実施された。

限られた時間でもあり、要点を絞った形での説明となったが、三島センター長からの挨拶で、現行のセンター委員の任期の3年間で「第一期御坊センター体制」として取り組み、各期の課題や成果を明確に整理し進めていくことが説明された。

また、『ひだ教報』第97号の表紙の瓢箪の絵により、教化の三本柱の推進が「報恩講」につながる。その要にあるものとして飛騨御坊真宗教化センター及び企画会議があること。さらに各組の教化委員会との連動が重要であることが伝えられた。

センター2年目を迎え、コロナ感染など問題はありながらも、ご坊センター理念・三本柱をより実動させていくことが伝えられた。

また、橋駐在からは教化事業の詳細、石井会計からは別院報恩講執行についてのお願いがなされた。



『ひだ教報』97号
是非ご参照ください。

「高山別院報恩講」勤修 11月1日～3日

すでに各寺院にはご案内済みではあるが、高山別院報恩講が、11月1日から3日、コロナ感染に配慮しながら勤修される。

今年度は、1日には「筑前琵琶」(田中旭泉氏)の演奏(定員130人)。2日の真宗公開講座(「飛騨の聖徳太子信仰」講師:東等寺住職竹田雅文氏)。1日から3日までは「聖徳太子展」も開催される予定となっている。また3日午前には、昨年は実施できなかった帰敬式も鍵役剃刀により予定されている(募集受付中、締め切りは10月8日まで)。

御坊センターの取り組みで示される通り、三本柱をはじめすべての事業の集大成としての報恩講を、各組をはじめ皆様のご協力をいただきつつ勤修してまいりたく、ご協力のほどお願い申し上げます。

10月4日の企画会議で、コロナ感染状況を踏まえて勤修形態の最終確認を行います

月/日	時	内容
11月1日	夜7時	初夜 祝夜 音楽法要
	夜9時	二夜 祝夜 祝夜 祝夜
11月2日	日中	「浄土一統土を生きたる御廟所」
	夜7時	祝夜 祝夜 祝夜
11月3日	朝	祝夜 祝夜 祝夜
	夜7時	祝夜 祝夜 祝夜

主催 会場 真宗大谷派 高山別院 問合せ 0577-32-0688

「帰敬式実践運動」 運動の願いと高山における取り組み・実状について(概観) 「同朋」の回復を求めて・住職による執行の推進

◆はじめと願い—真宗門徒としての自覚と実践

帰敬式実践運動は、同朋会運動の展開の中で1996年4月に始まりました。戦後50年を節目に、国の内外を越えて時代の流れが大きく変わりつつある時であり、蓮如上人五百回御遠忌を2年後に控え、特に「真宗門徒としての自覚と実践」を深めるために、全宗門人が共に取り組んでいけるような実践課題として生まれてきた。この運動施策により、従来の門首鍵役の執行に加え、一般寺院での住職による執行が具体化され、さらに多くのご門徒が帰敬式を受式できる機会が開かれることとなった。

また、帰敬式実践運動の意義として大きくは2点が挙げられる。まず「帰敬式が死の準備で、法名は死の名前」というこれまでの認識を改めること。この体質を克服せずに、真に帰敬式に高めることはできないだろう。そして、『御文』に「親鸞は弟子一人ももたず」、「とも同行」といわれた親鸞聖人の精神に学び、住職と門徒が共に語り合い、「御同朋」としての念仏の僧伽が見い出され、寺院と門徒の本来の繋がりが構築されることはもとより、寺が広く現代社会に向けて開放され、同朋社会が顕現される勝縁となることを願うものである。

高山教区帰敬式実践運動推進計画(2006年度)

運動発足から10年を迎えた2006年度、各教区でも帰敬式実践運動推進計画が立てられ、高山教区においても計画が作成され本山に報告されている。(以下、高山の推進計画を要約して掲載)

- 「教区住職総合研修」の実施に関する事項
帰敬式の執行及び意義・真宗同朋会運動等を内容に開催を予定。
- 教区における帰敬式実践運動の取り組みの現状と課題について
現状、別院報恩講での実施、各寺で自主的に実施、各組親鸞教室(推進員養成講座)での実施、組としてのお待ち受け奉仕団での実施がある。
課題として、一般寺院での執行がなかなか広がりを持ってない。
- 2006年度からの具体的な帰敬式執行及び受式の呼びかけの方途について
 - 宗祖御遠忌お待ち受け総上山における受式を積極的に呼びかける。また、毎年春に行われている教区取骨団参における受式を呼びかける。
 - 各組推進員養成講座の中で帰敬式をテーマの1つにして学びを深める。
 - 益田組真宗子ども講座を機に、子ども及び保護者に受式を呼びかける。
 - 教区お待ち受け大会での帰敬式執行。
 - 別院報恩講での帰敬式で、事前学習会や当日の法名伝達の仕方など更なる充実を目指す。
 - 組門徒会員について、「全飛組門徒会研修会」を開催し、未受式者である

4. 運動推進についての教区内役職者・教区諸機関の関わり
組織拡充小委員会で「教区帰敬式実践運動推進計画」を策定。また、各組での帰敬式実践運動推進のため、各組長と連携を持つ。
5. 帰敬式の推進に係る広報の取り組みについて
『ひだご坊』、ホームページへの掲載。教化パンフレット『聞く聴く効く』への掲載の検討。『同朋新聞』を使って伝えていく方途の検討。
6. 受式者への継続的な取り組み方途について
まず帰依三宝についての学びを深めていただくことが大切、そこから聞法の歩みが始まるのが肝要。各寺の同朋の会、真宗公開講座や推進員研修等を受式された方に参加の呼びかけをしていく。
高山教区における「帰敬の集い」の開催を検討する。

◆高山地区における帰敬式実践運動の実状・受式件数と課題について

2019年5月の御遠忌法要に向けて、教化重点施策の一つに「帰敬式推進」を位置付けて取り組んできた。その一環として、御遠忌前後の別院報恩講にも多数の受式をいただいた。その後、教区改編とセンター設立後も、この取り組みは継続している。

しかし、2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、報恩講での帰敬式や組門徒会奉仕団、後期教習も軒並み中止となった。

◇高山地区における過去3年間の帰敬式受式者数

年度	本山	別院	寺院(寺院数)	合計	御遠忌	別院報恩講
2018	50	302	46(5)	398	207	95
2019	32	70	55(4)	157		70
2020	3	未執行	0(0)	3		未執行

2019.05.11 高山御遠忌
第1期ご坊センター1年目

◇高山地区組門徒会員(2021.3.10改選)の受式者数

103/217名(受式率 47%)

◇全国及び高山教区の全受式者数推移(2010~2019年度) 表内()は本山受式者数

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
高山	(35) 218	(54) 177	(79) 211	(96) 184	(74) 169	(83) 163	(38) 105	(14) 173	(50) 398	(32) 157
全国	(4,857) 10,150	(4,093) 8,910	(4,096) 10,252	(3,747) 10,039	(3,720) 9,292	(3,716) 8,851	(3,779) 7,975	(2,969) 7,470	(3,221) 7,674	(1,996) 5,261

最後に、帰敬式実践運動に取り組むというとき、お寺にいる者がまずもって三宝に奉仕する人でなければならない。お寺にいる者が三宝に奉仕されるのなら、その精神がお寺に集う人々に自ずと伝わっていくのではないかな。

橘出駐在教導

『高山市民時報』ミニ法話『響』連載中

10月の寄稿者

三島多聞(高山別院輪番) 四衢亮氏(不遠寺住職)
内記 浄氏(往還寺住職) 北條秀樹氏(了泉寺住職)

web ひだご坊でも「一口法話」配信中!

高山別院報恩講 帰敬式受式者募集について

日 時: 11月3日(水祝) 午前10時~正午
会 場: 高山別院本堂 眞加金: 13,000円
申込締切: 10月8日(金)
事前学習: 10月19日(火) ①13時~ ②19時~ ※詳細は、8月上旬配布の要項をご確認ください。



案内チラシ PDF
「web ひだご坊」

各寺院の寺報でのご案内、お寺からの直接の呼びかけなど、
帰敬式受式の促進にご理解くださいますようお願いいたします。

飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2021年10月行事予定 ※コロナ感染の状況により中止や変更になる場合があります。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区	会 場
1	金	13:30	教 高山一組 門徒会研修②	御坊会館
2	土			
3	日	13:00	別 三日のご坊 法話:佐藤 義晃氏(了徳寺住職)	本堂
4	月	13:30	七 企画会議	研修室
5	火	7:00 13:30	別 半日華 組 高山二組 御絵伝会議	研修室
6	水	13:00 19:00 19:00	教 坊守会研修会 真宗女性のつどい 教 荘白川組 組門徒会研修② 教 清見組 親鸞教室②	Web 黒谷公民館 了因寺
7	木			
8	金		教 帰敬式締め切り	
9	土			
10	日			
11	月	13:00	別 大谷婦人会定例 法話:輪番 七 作品展締め切り	御坊会館
12	火			
13	水	7:00 13:30 18:30	別 前住上人ご命日 教 吉城組門徒会研修 組 高山二組組会・儀式研修会	本堂 誓願寺 研修室
14	木	13:30	七 青少幼年部会会議	センター室
15	金	7:00 10:00 13:30	別 半日華 七 書道展審査 別 報恩講会議	庫裡ホール 庫裡ホール
16	土			

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区	会 場
17	日			
18	月	13:30	七 広報部会	センター室
19	火	13:00 19:00	教 帰敬式事前学習会① 教 帰敬式事前学習会②	本堂
20	水	19:00	教 清見組親鸞教室③	了徳寺
21	木	13:30 19:00	教 部落差別問題等に関する協議会 教 教化研究所	Web 研修室
22	金	19:00	教 朝日高根組親鸞教室①	大徳寺
23	土			
24	日			
25	月			
26	火	8:30 19:00	別 二組門徒会 清掃作業 七 同朋唱和の願いを考える会(荘白川組)	
27	水	13:00 9:00	別 親鸞聖人お逮夜 別 吉城組 庭清掃	本堂
28	木	13:00	別 親鸞聖人御命日 法話:小原 宗成氏(円龍寺住職)	本堂
29	金	9:30 15:30	別 おみがき(益田組・おあさじの会・別院門徒 他) 組 高山一組組会	本堂 研修室
30	土	7:00	別 一日華・華束盛	
31	日	13:00	別 報恩講準備	

11月 ※15日ごろまでの掲載とし、定例行事は省きます。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
1~3			別 報恩講	9	火	19:00	教 朝日高根組親鸞教室②
8	月	19:00	教 清見組親鸞教室④	15	月	13:30	教 解放推進協議会輪読会